



観音寺小だより

はまごう かおり 「浜栲の香」

HP: <http://kanonji-es.city-kanonji.ed.jp>

第10号  
観音寺市立  
観音寺小学校

# 今、大切にしてほしい心 = 「人の心が分かる」子に

【9月の校長講話(一部抜粋) 9/14】



「あの青年は、人の幸せを願い、人の不幸を悲しむことができる人だ。それがいちばん人にとって大事なことからね。彼なら間違いなく君を幸せにしてくれると、僕は信じているよ。」

のび太くんは、勉強や運動は、そんなに得意ではないですよ。でも、相手の心が分かり、自分のことのように一緒に喜んだり悲しんだりできるといふ、すばらしい心をもっています。その心のおかげで、しずかちゃんとは結婚の相手として、のび太くんを選んだのです。

2学期、楽しみにしていた運動会や遠足、宿泊学習や修学旅行などが延期になりました。普段の学校生活でも、三密をつくらないうために、してはいけないことや我慢しなければいけないことがたくさんあります。もう我慢の限界だ、と思っている人も多いと思います。

こんな時だからこそ、のび太くんのように「人の心が分かる」そんな子に、なつてほしいのです。例えば、新型コロナウイルス感染症の予防についても、今ぐらい気を付けていれば、大丈夫だろうと思っている人もいれば、マスクや手洗いをしても、不安で不安でたまらない人もいます。また、うわさ話やこそこ話が、とっても気になったり、深く傷ついたりして、学校が楽しくなくなってしまう人もいます。みなさん、一人ひとり違うのです。だからこそ、のび太くんのように、友だちの心を分かちあけてほしいのです。相手の考え方や感じ方を分かちあ

いのです。そして、その人の心が分かちあってきたら、その不安な心を解決するために、何をしたらいいか一緒に考え、クラスみんなが、毎日の学校生活を楽しくするようにしてほしいのです。

みなさん一人ひとりが、のび太くんのように、人の心が分かる人になれば、たとえコロナ禍の中でも、みんなが幸せな気持ちになれます。今は、そんなすばらしい心を育てるチャンスだと思ってみなさん、一人の気持ち

が分かる「心を育てていきましょう。」



## 子どもたちのためにありがとうございます

感染症対策のため、夏休みに計画していたPTA奉仕作業が中止になったまま、2学期がスタートしました。その影響で、運動場にはたくさんの草が生えてしまいました。

その様子を見て、地元企業である「西讃観光バス」のみなさんが、仕事の合間にボランティア活動を申し出てくださいました。

毎日2～3時間、雨の日は避けながら3週間、運動場が見違えるようにきれいになりました。最終日の今日、児童会役員が全校生を代表して、感謝状を渡し、お礼の気持ちを伝えました。



## 感染症対策

徐々に始める教育活動  
と まだ自粛する活動

### 【9月末までの活動】

- 次第に感染の広がりが落ち着いてきました。教育活動も対策を講じながら進めていきます。
- 充実学習や特別クラブなどの放課後活動を再開しますが、分散で活動します。
- 楽器の演奏を短時間から始めますが、合唱はまだしません。
- 体育館での体育等は学年単位までOKにしますが、接触の多い種目はまだしません。
- 2～4人のグループ活動はしますが、調理実習はまだしません。

## ・通学路安全点検・

7月、保護者の方にお願ひした通学路安全確認を基に、危険箇所を14に絞り、市の合同点検を実施しました(西讃土木事務所、市建設課、地域支援課、学校教育課、警察署、P会長等参加)。点検結果及び今後の対応は、後日まとめてお知らせします。